



一般社団法人プレーワーカーズ

活動概要

- ・地域の空き家を利用した気仙沼市の「あそぼん」と名取市の「〇〇（まるまる）」の2拠点で展開する、子どもが誰でも無料で利用できる「まちかど保健室」
- ・庭を使った遊び場は、自由に創造的な手作りの遊び場「プレーパーク」

活動拠点：宮城県気仙沼市・名取市

活動内容

解決したい社会課題

- ・震災後、生活環境が大きく変わった地域では、子どもが安心できる居場所や自由な遊び場がほとんど無い
- ・放課後の子どもの生活が、子どもの心身の育ちを十分に保障できるものになっていない
- ・小さな子を持つお母さんは、親子でリラックスして安心できる身近な行き場が無い場合、孤独な子育てになってしまう

助成前の課題

- ・子どもが自由に出入りできる安心できる居場所やのびのびできる遊び場が無い
- ・震災を知らない年齢の子どもも増えていて、その子たちは現状が分からないまま生活している
- ・お母さんと二人の生活時間が長い場合、お母さんから離れられない幼児が少なくない



助成後の変化

- ・家にはちょっとトイレに寄り子や、宿題を済ませて帰る子、友だちとゲームやトランプをする子、庭では手作り遊具で遊んだり、工作をする子など思い思いに自分の場所として遊びに来ます
- ・「生まれて一番楽しかった」と話す5歳の子がいました。子どもに自由に遊ぶ楽しさを伝えられる場ができました
- ・お母さんの手を離し、初めていろいろなことをして遊ぶ子がいました。お母さんは目に涙を浮かべて嬉しそうでした。そういう子は「帰りたくない」と言って泣きます。お父さんにもこの場を居心地良く感じる人がいて、運営に協力してくれるようになりました



今後の展望

2年間の活動を通じて、たくさんの人や団体・法人、学校や行政と繋がることができました。この繋がりを今後も活動に活かし、全ての子どもが受け入れられ、安心を守られる居場所、遊び場を増やして行くよう努力します。安心して子どもと子どもが出会える、安心して子どもと大人が出会える、安心して大人と大人が出会える、そんな場をつくって行きます。

寄付者へのメッセージ

間もなく震災から8年が経ちます。被災地では復興のための様々な取組、作業が今日も続いています。建設車両が往来する地域では、まだ子どもを安心して道路に出すこともできません。子どもたちが毎日の生活の中でのびのびと遊び、健やかに育っていくことを目標に、これからも活動を続けます。どうぞこれからもご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。



須永